



2022年度第6回 子どもアドボカシー実践講座 《選択ユニット》

この講座は、子どもアドボカシー基礎講座を修了して、さらにアドボカシーの実践を学び、地域で活動できるように、子どもアドボカシー学会ガイドラインに沿ってつくられた実践講座のうちの選択ユニットです。選択ユニット修了認定後に演習ユニットに進むことができます。大阪では、OJTとして、施設訪問に参加できます。

選択ユニット【ZOOM】				
No.	開催日時		講座名	講師
0		13:00～ 13:20	オリエンテーション	事務局
1	2/4 (土)	13:20～ 15:20	国・自治体で検討されているアドボケイトの役割	堀正嗣 (熊本学園大学)
2		15:30～ 17:30	児童相談所がかかわる子どもたちとアドボカシー	藤林武史
3	2/5 (日)	10:00～ 12:00	社会的養護当事者・経験者がもつめるアドボカシー	中村みどり (Children's Views & Voices)
4		13:00～ 15:00	社会的養護の子どもアドボカシーにかかわる法律・制度の理解	定者吉人 (弁護士)
5	2/9 (木)	19:00～ 21:00	児童福祉施設・里親養育の理解とアドボカシー	谷口由希子 (名古屋市立大学)
6	2/12 (日)	10:00～ 12:00	里親制度と子どもアドボカシー	山本真知子 (大妻女子大学)
7		13:00～ 15:00	一時保護所の子どものたちとアドボカシー	栄留里美 (大分大学)
8		15:15～ 17:15	社会的養護を必要とする障害児のアドボカシー	鳥海直美 (四天王寺大学)
9	2/23 (祝)	13:30～ 15:30	選択ユニットのレポート発表・振り返り	鳥海直美 (四天王寺大学)

※講師の都合で時間が変更になることがあります

■共催：NPO法人子どもアドボカシーセンターOSAKA・子どもアドボカシー学会
 ■問い合わせ先：NPO法人子どもアドボカシーセンターOSAKA
 〒590-0079 大阪府堺市堺区新町2番4号小山電ビル2階
 072-226-7227 childadvocacyosaka@gmail.com



NPO法人子どもアドボカシーセンター-OSAKA、子どもアドボカシー学会共催

2022年度第6回 子どもアドボカシー実践講座 《選択ユニット》募集要項



- ★対象：アドボケイトとして活動したい市民・子どもアドボカシーの実践を学びたい人
大阪では基礎講座修了者は、希望があればOJTとして施設訪問を行うことも出来ます。
- ★受講資格：基礎講座を修了し、原則として全時間受講できる方
(選択ユニット修了認定後に演習ユニットに進むことができます。)
- ★締切：2023年1月29日(日)
- ★受講料：**12,000円**(修了認定審査料含む)コース割引があります。
※入金方法は、申込み受付後、お知らせします。
- ★テキスト：各回ごとに資料があります。資料代は受講料に含まれます。
資料の配布は講師の都合で講座の直前もしくは講座後になることがあります。
資料は、データで添付されます。
- ★対象：基礎講座終了認定を受け、アドボケイトとして活動したい市民
- ★定員：50名
- ★場所：ZOOM オンラインで開催します。欠席した回は動画視聴により受講できます。

子どもアドボカシーセンター-OSAKAでアドボケイトとして活動される方には
返金制度があります。コース割引もあります。お問い合わせください。

- ★申込み：NPO法人子どもアドボカシーセンター-OSAKA
堺市堺区新町2番4号小山電ビル2階
TEL：072-226-7227 メール：childadvocacyosaka@gmail.com
申込みフォーム：<https://forms.gle/wEWP8zhnLvgtZYxu7>



↑

上記申込みフォームアドレス、右側のQRコードもしくは子どもアドボカシーセンター-OSAKAのHPよりお申込みください。

【明記事項】

- ①名前(カタカナ) ②お名前(修了証に記載するお名前) ③メールアドレス(講座についての連絡や資料の送付をします) ④所属 ⑤郵便番号 ⑥住所 ⑦電話番号 ⑧基礎講座修了認定証番号 ⑨配慮事項など
- ★修了認定：すべての講座の受講が必要です。
 - ・修了認定を受けるためにはすべての講座の受講と各回の受講レポート及び選択ユニットの修了レポート(約2000字)の提出(提出期限2月19日頃)が必要です。
 - ・欠席が全講座の3回以下であることが必要です。
 - ・欠席の場合は、動画視聴による受講とレポート提出が必要です
- ★修了認定評価ポイント
 - ・対象とする子どもの気持ちや思いを理解しているか
 - ・対象とする子どもの置かれている状況とアドボカシーの必要性を理解しているか
 - ・対象とする子どもとかわる法律・制度・社会資源を理解しているか
 - ・出席状況や出席態度